

『納得』

R4. 9. 30

新会長が「開会の言葉」の中で、新副会長が「閉会の言葉」で、「納得」という言葉をどちらも使いました。

本で行われた後期生徒総会のことです。生徒会長は「納得するまで議論しましょう。」、副会長は「納得したうえで、活動しましょう。」といった内容だったかと思います。

生徒会は、学校生活の中で体験する「自治活動」であり「民主主義」です。それぞれ考えの違う人が集まって集団をなし、集団としての向上を目指してみんなで協力する。そんなことを学ぶ場です。

考えが違う人たちの集まりなので、当然意見の対立が起こります。一方の意見を採用すれば、もう一方は「納得」いかないと言うでしょう。互いに「納得」するためにはどうすればよいか。子供たちにとっては、いや大人にとっても難しい課題です。

生徒会長が言うように、「納得するまで議論」するしかないと思います。しかし、永遠に議論するわけにもいかないなので、どこかで「折り合いをつける」ことをしなければなりません。生徒会活動や学級会活動はそのようなことを学ぶ場でもあります。つまり、「合意形成のプロセス」の学習です。

このような経験がやがて、「数の論理」や「暴力や威圧」による解決ではない、別の道を切り拓くことになることを期待しています。



環境ボランティア委員会の水やり、草むしり等のお世話や、職員の配慮のおかげで、春に植えた花が今も元気に咲いています。